



第56号

発行 山辺地区社会福祉協議会 事務局 山辺公民館内 TEL 0284(71)0516

- すなおな心 (はい) 反省の心 (すみません) 謙虚な心 (おかげさま) 奉仕の心 (私がします) 感謝の心 (ありがとう) 山辺地区日常五心

小林良子さん(堀込町) 老人給食ボラ ンティア25年、 現在も調理実務 の第一線で活躍 中。ご主人の介 護を続けながら、貴重なご寄附 等地域福祉に尽力されている。

足利市長表彰

「地域福祉功労」 足利市長表彰 3名が受賞した。

恒例の足利市民福祉大会が11月6日、市と市協等7つの福祉団体の主催、10団体の後援でプラザにて開催された。本市では平成11年に福祉都市宣言がなされ、すべての人が相互の信頼と連帯を基本に、関係機関との連携を深め、ボランティア精神を発揮して、共に支えあえる福祉社会実現の取り組みに参加することを確認、人にやさしいまちづくりと「健幸」に努める本年の大会宣言を採択し、功労者表彰が実施された。当地区としては地域福祉功労で市長表彰2名、市社会福祉協議会会長表彰3名が受賞した。

第21回

足利市民福祉大会開催

健幸で共に支え合おう

高瀬雅子さん(借宿町) 地区社協理事 11年、事務局や 子育てサロン等 社協実活動に注 力、主任児童委

足利市社会福祉協議会長表彰

「地域福祉功労」 足利市社会福祉協議会長表彰

樋口茂延氏(堀込町) 地区社協理事 として11年、内 務局長9年、 民生委員を兼務 しながら現在の 社協を始めとする地区福祉活動 の土台として頑張っている。

足利市社会福祉協議会長表彰

「地域福祉功労」 足利市社会福祉協議会長表彰

須永 昭氏(西新井町) 自治会長時より地区社協理事として11年、現在も監査役の他に障がい児者としてのふれあい交流事業の委員長として円滑な運営に注力中。

歳末助け合い募金で 高齢者訪問などを 今年度の市の歳末助けあい募金は総額一千三百万余円。使途は支援を必要とする世帯・児童・障がい児者等への見舞等が半分、他に毎年特別事業を行う地区社協への支給も同程度である。山辺社協として今年も66万余の支給(一部サロン補助も含む)を申請し、独居高齢者主体に特別友愛訪問と特別会食会を企画、各自治会や民生委員の努力で実行された。

歳末助け合い募金で 高齢者訪問などを



永倉みさをさん(朝倉町) 地区社協活動として理事、老人給食委員、サロン運営委員等を務め、5年前には市社協会長表彰を受賞。又保護司、民生委員も勤める。積極的に明るい性格は誰からも愛され頼りにされ、今後の更なる活躍が期待されていたが、受賞後、惜しくも病の為に逝去された。

足利市長表彰 員も勤め、地域児童福祉問題に積極的に取り組んでいる。



中里城址にて。地元の歓迎に感謝

今年初の試みで隣の御厨地区に足を伸ばすこととした。文化財公開日の11月20日。八幡神社に8時半集合。児童3、中学生4名含みの総勢41名。まず目指すは福居・中里城址。足利環状線のメインロードを東武線陸橋まで地区社協旗をたてて東進、東武和泉駅を越えると程なく到着、文化財公開日だけに町内役員衆がこぞ出て出迎えてくれて、これだけの人数を迎えるのは初めてと歓迎してくれ

中里城址からトチセンを巡る



今も現役の産業レガシーの前でトチセンにて

中世からの名残の土壘と堀を一巡りし自治会長より解説を聞く。13年かけて現状まで整備した話も。続いて福居駅傍のトチセンへ。大正初期のレンガ造の工場は当時の状況を色濃く残しながらも現役の工場として稼働し続けている。朝ドラ「とと姉ちゃん」のロケ場の話題で盛り上がる。終盤、和服でかけつけてくれた社長の姿も工場の景観にマッチしている。河南消防署まで歩く頃には

第10回 山辺の今昔譚 「日本整形外科の父 田代義徳博士の足跡を尋ねて」

田代義徳博士顕彰会

その三田代病院二代目院長 明治24年、義徳の父基徳は、住んでいた東京下谷練堀町(現秋葉原近辺)に、念願であった田代病院を創設した。東京でも名医の病院とあつて患者も多く、信頼される病院となつていった。患者の中に美術家の岡倉天心もいたという。しかし、基徳は7年後、この世を去つてしまった。そのため義徳が二代目院長として病院を引き継いだ。義徳院長の名医としての評判はますます高まつていった。院長



柳田春次(左)と田代博士(中央) 顕彰会発行誌「人生意気に感ず」より転載

の経営方針は、学問よりは治療中心であったという。ここに義徳院長の人間味にあふれ、使命感に燃えたお話があるのでご紹介します。 田代病院に足利市福居町の柳田病院の柳田春次先生(今の先生の父)が副院長として勤めておられた。春次先生が後日座談会の中で次のように述べておられます。「義徳先生はいつも訓示として、病人は貴賤を問わず誰でも同じように、親切丁寧に治療してあげて下さい。特に貧しい人対しては、治療(無料の治療)でさしつかえありません」と言っておられました。義徳先生は皆に訓示するだけでなく自ら実践していました。ここに患者に対して親切丁寧を旨とする義徳先生の信念が伺えます。」 次回は、偉大な業績に関わる大きなチャンスと出会う話です。

北澤一京師 講演展示会 展示品紙上紹介

平成28年9月28日に山辺公民館にて一京師の講演・展示会を開催した。(前号既報) 反響も大きく、ここに展示作品の一部を紹介する。資料等希望あれば事務局までお問合せ下さい。



恵比須様(西宮神社)



布袋様(北澤スクリーン)



翁



江戸飾り獅子



昇龍



龍 透し彫



能面 3種
般若
小面 お福



双龍 透し彫



阿弥陀如来



毘沙門天



甲子大黒



修行時代の試彫
(なまはげ)



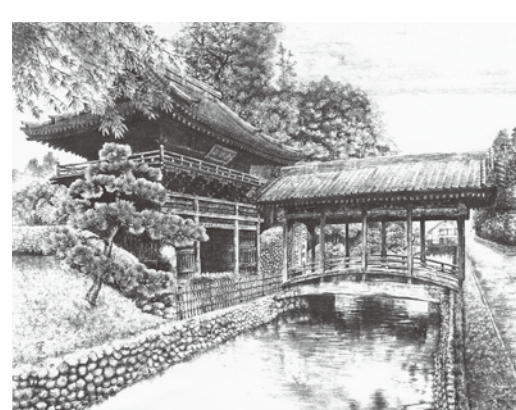
矮鶏 板彫



竹生島 板彫



鑊阿寺・鐘楼(入江氏)



鑊阿寺・太鼓橋(山辺公民館)



赤城山



焼失前の八雲神社前門の獅子頭等

民生委員が改選されました

平成28年12月1日付けで全国一斉に民生委員、主任児童委員の改選が行われた。

山辺地区では12名のベテラン委員が退任、新たに現在までに12名が選任され、現状39名の陣容で平成31年11月30日までの任期で地域生活でのお困り事等の相談窓口を務めることとなります。各町内の民生委員・児童委員は次の方々です。

- 八幡1 有田敏子・岡野綾子、八幡2 長張己代、八幡3 本橋陽美・小林芳子、八幡4 落合かおる、八幡5 堀越栄子、八幡6 植竹裕、借宿1 徳井範子、借宿2 梅沢すみ代、借宿3 阿久田操子、借宿4 島田恵子、中川柳沢猛・齋藤恵子、西新井須永嘉子・須永三子子、滝宮小川美枝子、堀込1 矢代豊子・中村金三・岸悦子、堀込2 樋口茂延・中村ゆき江・新井明・岩佐あつ子、朝倉1 坂本由美子・後藤宗市、朝倉2 家泉ユキ工・田中幸子、朝倉3 丸山信太郎・尾崎雅治、田中1 岡田和子、田中2 三田敏夫、齋藤裕子、田中3 田部井久代、田中4 齋藤光勇、主任児童委員 増田



西新井町 橋本静江

民生委員を退任して

晴美・小林和枝・高瀬雅子・上岡恵子

「民生委員だげはやらない方がいい」とよく言われました。近くで先輩の仕事ぶりを見ていたとそんな気がしたのも確かです。

私は平成18年4月1日付で拝命しました。準国家公務員という肩書で委任状には仕事上の守秘義務が明記されていました。あつという間の10年間で訪問する家がわからず先輩に相談する事ばかりでした。この仕事に係わって感じた事は高齢者の増加、そしてその方の身内が近くにいないことが多く、相談する上で大変でした。始めのうちは仕事の内容が「これをやればいい」と明確でしたが、最近では相談内容が複雑になり、個人の家庭のことまでにも立ち入ることがありました。こ

んな時には仕事を通してお互いの信頼関係が基本になります。どんな些細な事でも親身になってやる姿勢が大切である事を学びました。ある時は町内の高齢の方が散歩に出て道に迷い、救急車から連絡があったり、大型店からの連絡があったりと、何かと時間に関係なく呼び出しがありました。今となっては大変勉強になりました。これからはこの経験を生かして皆様のお役に立てればと考えております。長い間お世話になりました、ありがとうございます。

サロン四季

アピタの無印びがぎの会

たかろばカフェとは市から委託を受けて行われている認知症カフェで、罹症者や支える家族、地域ボランティア等が気軽に集える場所。現在は喜重苑のコミュニティカフェやピーターパルで定期的に開かれています。昨年9月に、市や関係者の努力で拡大前イベントカフェとしてアピタの一階イベントホールで丸一日開催された。カフェコーナーだけでなく認知症テストや相談もできるこ



大幸先生とサロン四季の皆さん

ナリ、内科・眼科・歯科の先生方の講演、芸能団体による演芸披露など。関係する当事者だけでなく、アピタに来店した一般市民も三々五々足を止めて見聞いて、交流する姿もみられた。ここに「サロン四季」のみなさんが参加、大幸先生のキーボードと小林さんの明るいトークで、童謡を歌いながらメンバーが各テーブルに散り入って、参加者と一緒に和やかなひと時を演出することができた。認知症の方とその家族が地域で安心して暮らせるまちづくりの活動に協賛して、街中の雑踏にも近いイベントホールでの出演に挑戦してくれた「サロン四季」の皆さんに拍手。